



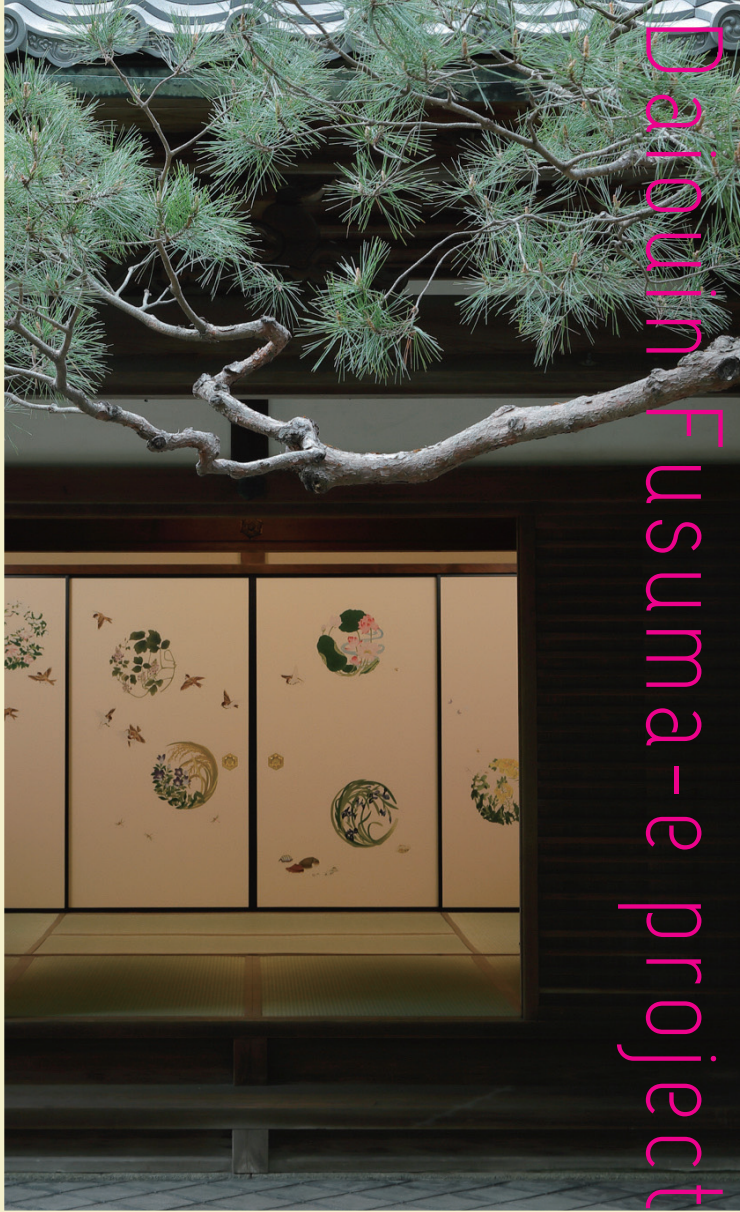
大雄院
襖絵
プロジェクト

2019年
4月19日(金) ~ 5月12日(日)
10時 ~ 16時
拝観料 / 六百元

臨濟宗大本山
妙心寺大雄院
春の
特別拝観

Daiouin Fusuma-e project





大雄院襖絵 安川如風(2018)年

2017年冬、柴田是真ゆかりの寺妙心寺大雄院にて発足した「大雄院襖絵プロジェクト」。その目的は明治宮殿天井画の花の丸図(※戦火にて消失)を襖絵として復活させ、日本で唯一の宮絵師の画技を後世に残すというものです。江戸で大きな才能を開花させ、「宮中には是真あり」と言わしめた天才絵師であり工芸家であった「柴田是真」は明治皇室御用達の職人集団「皇室技芸員」の第一期の筆頭人物でした。そのため宮中には柴田是真が手がけたものが数多くございます。その中でも大傑作であり代表作とも言えるものが明治宮殿の「千種の間綴織花の丸天井」です。数多くの草花を円形の中に落とし込んだ大胆で秀逸なデザインは、後世の絵師に大きな影響を与えています。

大雄院には180年前に是真によって描かれた本堂の障壁画72面がございます。是真が絵師として修行を始めた若い日の筆によるもので、華やかで粋な是真の作風とは一見異なる印象の、やさしい淡彩画でありながら、是真の表現者としての才能の一端をひしひしと感じる大作です。

今回、春の特別拝観では、襖絵プロジェクトの全4期工事のうち、3期までの襖絵14面をご覧ください。宮絵師安川如風の手で襖絵として蘇った33種の草花図は華やかで、しなやかで力強く、やさしく、時には光、時には風を感じ得る、奥深い力を放っています。是真の類いまれなデザイン感覚と、岩絵の具を使い伝統を守ってきた宮絵師の技術による「復活」であり、新しく「誕生」したともいえる新・大雄院襖絵をどうぞご覧ください。



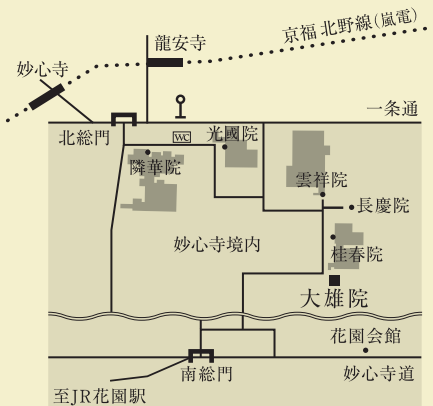
宮絵師安川如風 制作風景



本堂障壁画 柴田是真(1830)年

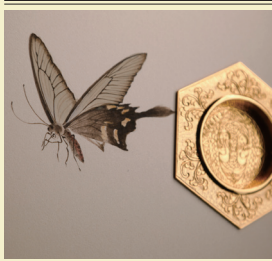


春の特別拝観
期間限定
御朱印



大雄院襖絵プロジェクト 第三次募集ご協力をお願い

プロジェクトの完成に向け、春の特別拝観にて大雄院襖絵プロジェクト第3次ご寄付募集を開始させていただきます。何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



[制作内容] 柴田是真の残した花の丸図を元に安川如風が描く大雄院の襖18面
[完成予定] 2020年4月予定

[寄付受付] 1口/1,000円より
寄付をお受けした方のお名前はお寺に残させていただきます、完成披露内覧会へのご招待をさせていただきます。

[ご寄付の仕方]
大雄院備え付けの申込用紙にて直接申し込む。
大雄院ホームページより申し込む。
ご不明な点は 大雄院へお問い合わせ下さい。

※ご寄付の心ばかりの返礼として
記念御朱印(書き置き)の授与がございます。▶



襖絵
プロジェクト
記念御朱印帳

妙心寺 大雄院

〒616-8035
京都市右京区花園妙心寺町52
075-463-6538

<https://www.daiouin.com>

アクセス
電車/JR「花園駅」より徒歩10分
嵐電「妙心寺駅」「龍安寺駅」より徒歩8分
バス/市バス26系統「妙心寺北門前」より徒歩5分

大雄院 住職 石河法寛
大雄院襖絵制作
実行委員会一同

